一般区分・特別エリア区分共通
No.1(共通)

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし

応募概要				
	分野	伝統芸能	種目	人形浄瑠璃等
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要				
	ふりがな	コウエキザイダンホウジンエドイトアヤツリニンギョウユウキザ		
	制作団体名	公益財団法人 江戸糸あやつり人形 結城座		
	代表者職・氏名	代表理事・田中克昌	団体ウェブサイトURL	https://youkiza.jp/
	制作団体所在地	〒 184-0015	最寄駅(バス停)	武蔵小金井(中大附属高校)
		東京都小金井市貫井北町3-18-2		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	□ ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな	エドイトアヤツリニンギョウ ユウキザ		
	公演団体名	江戸糸あやつり人形 結城座		
	代表者職・氏名	代表理事・田中克昌	団体ウェブサイトURL	https://youkiza.jp/
	公演団体所在地	〒 184-0015	最寄駅(バス停)	武蔵小金井(中大附属高校)
		東京都小金井市貫井北町3-18-2		
	制作団体 設立年月	平成21年12月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		代表理事 田中克昌 理事 ボイド眞理子、葛西聖司、古谷伸太郎 評議員 桂真菜、犬丸治、吉田誠男	演技部 8名 美術部 2名 制作部 2名 経理部 2名 加入条件:古典と新作の両輪をもって江戸糸あやつり人形芝居の在り方を追求し、身をもって行動できる者。	
	事務体制 事務(制作)専任担当者の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	前田玲衣(まえだれい)
	経理処理等の監査担当の有無	有	経理担当者	和田光
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス	電話番号	
		seisaku@youkiza.jp	0423229750	

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	江戸時代の寛永12年(1635年)に初代結城孫三郎が創設。現在の十三代目結城孫三郎まで390年の歴史を持ち、「国の記録選択無形民俗文化財」及び「東京都の無形文化財」に指定されている伝統ある糸あやつり人形劇団。現在では古典の継承発展のみならず、新作、写し絵など公演活動の場を拡げ、これらに対して、芸術祭文部大臣賞、東京都知事賞など数々の栄誉を受ける。 また海外公演や国際共同制作も積極的に行っており、ベオグラード国際演劇祭では「マクベス」で特別賞と自治体賞を受賞、日仏国際共同「屏風」では、パリの国立劇場コリーヌ劇場を皮切りにヨーロッパ各地を6年間に渡り約50公演巡演し、2007年アビニヨン演劇祭のオープニングに招聘されるなど、国内外において高く評価されている。平成21年12月18日に公益財団法人の認定を受ける。 1956年5月　東京都の無形文化財認定(団体として) 1957年芸術祭文部大臣賞(団体として)「きりしとほろ上人伝」 1973年東京都知事賞(団体として) 1980年東京都知事賞(団体として) 1986年ベオグラード国際演劇祭特別賞(団体として)「マクベス」 1998年11月 国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」選定(団体として) 2012年池袋演劇祭特別賞(団体として)「ミス・タナカ」 2021年3月 第42回松尾芸能賞 特別賞(十二代目結城孫三郎) 2024年10月　名誉都民賞(三代目両川船遊／元 十二代目結城孫三郎)
	学校等における公演実績	戦後、昭和21年より学校視聴覚教育のため日本の劇団で初の小中学校巡演を開始し、青少年育成活動を積極的に行ってきました。伝統芸能の古典演目を中心に、学校及び会館にて1万回以上の公演実績があります。人形の解説と体験付きで、古典と新作の両演目を上演してきました。 平成 6年 「三番叟」「弥次喜多道中記」「杜子春」「寿獅子」「伊達娘恋緋鹿子」 2公演／「三番叟」「弥次喜多道中記」「杜子春」「寿獅子」「伊達娘恋緋鹿子」 5公演 平成 7年 「オズの魔法使い」 4公演 平成 8年「三番叟」「証誠寺の狸ばやし」「寿獅子」「うさぎのおんがえし」 1公演／「三番叟」「弥次喜多道中記」「杜子春」「寿獅子」 1公演 平成10年 「昭和怪盗伝」 1公演／古典　3公演 平成11年 「三番叟」「証誠寺の狸ばやし」「寿獅子」「杜子春」2公演/「「オズの魔法使いたち」2公演 平成11年 「三番叟」「オズの魔法使いたち」1公演 平成14年 「文七元結」「寿獅子」 1公演 平成15年 「伽羅先代萩」2公演/「三番叟」「弥次喜多道中記」「杜子春」「証誠寺の狸ばやし」2公演 平成16年 「三番叟」「証誠寺の狸ばやし」他　7公演 平成18年 「弥次喜多道中記」1公演／「宮沢賢治の写し絵劇場～注文の多い料理店～」 6公演 平成19年 「三番叟」「証誠寺の狸ばやし」「寿獅子」「杜子春」 1公演／「宮沢賢治の写し絵劇場～注文の多い料理店～」解説、体験付　4公演 平成20年 「三番叟」「証誠寺の狸ばやし」「寿獅子」「杜子春」5公演/「糸あやつり人形の世界」 1公演／「宮沢賢治の写し絵劇場～注文の多い料理店～」解説、体験付　4公演 平成29年　親子で楽しむ　人形×リーディング「あらしのよるに」 1公演／「三番叟」「寿獅子」 3公演「伊達娘恋緋鹿子」「伽羅先代萩」「本朝二十四孝」 2公演／「文七元結」 3公演 平成30年 「千人塚」「寿獅子」 4公演 令和2年　「東海道中膝栗毛」(新内語りでの上演は2～30年振り)「本朝廿四孝」 7公演 令和4年　「寿獅子」「伊達娘恋緋鹿子」「東海道中膝栗毛」 7公演 令和6年　「証誠寺の狸ばやし」「寿獅子」1公演
	特別支援学校等における公演実績	・平成20年　小金井市　小学校　3校(通常クラスとの合同にて、体験と鑑賞実施) ・平成30年　北海道　札幌市　豊成養護学校　1校 ・令和元年　東京都立墨東特別支援学校 本校 小学部・中高部/病院内分校 3校(計5公演) ※都立東部療育センター、国立がん研究センター中央病院、聖路加国際病院 ・令和2年　東京都立足立特別支援学校　1校(計3ステージ) ・令和3年　東京都立調布特別支援学校　1校(体験)

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/tMEk1YbQ2zk	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	なし
		PW:	なし

別添	なし

【公演団体名　江戸糸あやつり人形　結城座　】

本公演・ワークショップ

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○

企画名	【伝統芸能】江戸糸あやつり人形の世界　～江戸文化を楽しもう！～
企画のねらい	本企画では、400年の伝統をもつ江戸糸あやつり人形の繊細な表現を間近で「感じて」、児童・生徒一人一人が実際「触れ」て、さらにその技芸や表現を生かした人形芝居の「鑑賞」を通して、より深く伝統の芸能・文化を理解し、豊かな経験となる事を目的とします。 人形を「見て・触れて・知る」ワークショップでは、人形をあやつることによる自己表現や友達とのコミュニケーションを通じて、児童・生徒の想像力、自ら学び、考えて表現する力を育みます。
演目概要・演目選択理由	**★バラエティーに富んだ三演目★** 人形の機構や演出などが三者三様の3演目を集めました。初めて伝統芸能に触れる児童・生徒でも、人形の違いや仕掛けに自分で気付くことができ、楽しみながら学べる演目となっています。 **①人形の仕組みと歴史のお話** 日本独自の四角い手板(操作板)や人形を実際に見せながら、基本の17本の糸が手板と人形のどこについていて、それぞれ何の糸なのか、動かしながら分かりやすく説明します。 **②超絶技巧の獅子舞:『寿獅子**（ことぶきじし)**』** **概要:**厄を払い、福を呼び込むといわれ、お正月や祭りで舞われる獅子舞。結城座に最も古くから伝わる演目の一つです。 **選択理由:**糸あやつりならではのダイナミックな動きと、一人の人形遣いが、獅子頭と2人の獅子遣いの3体分を扱う、超絶技巧が見所で、想像力を掻き立て、児童・生徒に大人気の演目です。 **③八百屋お七の一途な恋心:『伊達娘恋緋鹿子　火の見櫓の場**（だてむすめこいのひがのこ　ひのみやぐらのば)**』** **概要:**江戸時代の実話を題材に芝居化された、通称「八百屋お七」。雪の夜の美しくも哀しい名場面と、美しい女形とその一途な恋心に心打たれる作品です。 **選択理由:** 男形と女形の人形では機構が異なり、女形では、提灯胴というしなやかに動く胴を使った所作や、人形衣裳の着物の裾さばきが見所です。伝統の技芸や工夫が詰まった、双方の人形が登場し、児童・生徒でも楽しめる演目です。 **④弥次さん喜多さんの楽しい珍道中:『東海道中膝栗毛～赤坂並木から卵塔場まで～**（とうかいどうちゅうひざくりげ　あかさかなみきかららんとうばまで)**』** **概要:**江戸時代に空前の大ヒットとなった十返舎一九の大ベストセラー。江戸当時と同じ形式上演スタイルで、生の新内弾き語りにのせて、人形の仕掛け、台詞のかけあい等をお楽しみいただけます。 **選択理由:**台詞の江戸言葉は古典ながら児童・生徒にも分かりやすく、さらに歌川広重の「東海道五十三次」デジタル映像を投影し、イメージしやすい工夫がされています。中学校の教材にも掲載される本作は、人形芝居で見ることで江戸庶民の生活や文化を楽しく学べると評判を得ています。
児童・生徒の参加または体験の形態	●共演形態:**人形遣いに挑戦！** ・事前のワークショップ参加者の中から20～30人程度の児童・生徒が、本公演「東海道中膝栗毛(とうかいどうちゅうひざくりげ)」に参加していただきます。 冒頭の東海道中を行き交う旅人役、村人役、村人の子ども役の他に、10～20人に三味線の生演奏に乗せた歌と演奏で参加します。 ・1人1体の人形を持ち、台詞を言いながら人形をあやつることに挑戦していただきます。 ・人形をあやつる児童・生徒は黒衣(くろご)※を着用していただきます。 ※黒衣(くろご)―古くから日本の伝統芸能で広く用いられる衣裳。黒子は、あやつる人が「見えていない」という意味で着用します。それにより、人形も見やすくなります。

児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	20～30人
		鑑賞人数目安	20～200人

プの内容

本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	**①人形の仕組みと歴史のお話(15分)** **②超絶技巧の獅子舞 (5分)** 『寿獅子 (ことぶきじし)』 **③八百屋お七の一途な恋心(15分)** 『伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の場 (だてむすめこいのひがのこ ひのみやぐらのば)』 義太夫 故竹本素京(録音) ※休憩15分 **④弥次さん喜多さんの楽しい珍道中(40分)** 『東海道中膝栗毛～赤坂並木から卵塔場まで～ (とうかいどうちゅうひざくりげ あかさかなみきかららんとうばまで)』 原作 十返舎一九／作詞・作曲 富士松魯中(新内節)／生の弾き語り 新内多賀太夫 構成・監修 三代目両川船遊 ※幕間ごとに、演目の解説を入れます。
公演時間	90 分
出演者	人形遣い(6名): 十三代目 結城孫三郎 三代目 両川船遊(元十二代目結城孫三郎) 結城育子 湯本アキ 小貫泰明 大浦恵実 弾語り(1名): 新内多賀太夫
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度／名	**●十三代目 結城孫三郎**(じゅうさんだいめ ゆうきまごさぶろう) 十二代目の長男。1985年『夢童子 ゆめ草紙』『寿獅子』にて5歳で初舞台。『寿獅子』では故・結城雪斎(十代目孫三郎)と共に仔獅子を披露。2021年6月、「結城数馬改め十三代目結城孫三郎襲名披露公演」にて襲名。 **●三代目 両川船遊**(さんだいめ りょうかわせんゆう)／元十二代目結城孫三郎 十代目の次男、4歳で初舞台。3歳から日本舞踊を学び、11歳から武智歌舞伎に入門。72年江戸写し絵家元三代目両川船遊を襲名。93年十二代目結城孫三郎を襲名。2021年6月、長男に結城孫三郎の名跡を譲り、両川船遊の一つ名前に戻る。2021年第42回松尾芸能賞 特別賞受賞、2024年名誉都民の称号を得る。 **●新内多賀太夫**(しんない たがたゆう) 6歳より父の新内仲三郎(人間国宝)に師事。2017年4月に新内節の七代目冨士元派家元、新内多賀太夫を襲名。2004年東京藝術大学常英賞、2013年第33回 松尾芸能賞 新人賞、2014年第68回 文化庁芸術祭賞 新人賞、2015年第65回 芸術選奨 文部科学大臣新人賞、2018年第22回 日本伝統文化振興財団賞など多数。

本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等訪問する業者人数含む						
	出演者:	7	名	運搬	積載量: 2	t
	スタッフ:	9	名		車 長: 6.5	m
	合 計:	16	名		台 数: 1	台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の目安	前日仕込	有	前日仕込所要時間		3.5	時間程度
	到着	仕込	上演	内休憩	撤去	退出
	9:00	準備・共演生徒最終確認 9:00～9:45	10:00～11:30	15分	12:00～15:30	15時30分
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。					

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。				
	6月	7月	8月	9月
	10日	10日	15日	20日
	10月	11月	12月	1月
	20日	5日	0日	0日
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。		計	80日

本公演・ワークショップの内容

公演に係るビジュアルイメージ（舞台の規模や演出がわかる写真）

※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡易図面」を記載してください。

●舞台設置イメージ(図1,2)

・舞台に必要な広さは【幅8～10m、奥行き:5m　舞台高:1m】です。（体育館の舞台の使用を想定していますが、左記より小さな舞台でも実施可能ですのでご相談ください。）
・人形の大きさは60cm程度と小さいため、前方の席は座面高の低い椅子に座っていただくなど工夫をお願いする場合があります。
・糸あやつり人形の繊細な動きや人形芝居の醍醐味を存分に楽しんでいただくために、1回の鑑賞人数が200名を超える場合は2回公演をお勧めしております（必須ではありません）。

図1:舞台上で人形を遣う二人(左手前)、三味線の生演奏(舞台右奥)と、鑑賞する様子(右手前)。舞台背景のスクリーンに映像投影

図2:前方は運動マット上、後方は座イスで鑑賞

●3演目の上演イメージ(図3,4,5)

図3:超絶技巧の獅子舞
『寿獅子（ことぶきじし)』

図4:八百屋お七の一途な恋心
『伊達娘恋緋鹿子　火の見櫓の場（だてむすめこいのひがのこ　ひのみやぐらのば)』

図4:弥次さん喜多さんの楽しい珍道中:『東海道中膝栗毛～赤坂並木から卵塔場まで～
(とうかいどうちゅうひざくりげ　あかさかなみきかららんとうばまで)』

新内節の弾語り

児童・生徒が人形遣いに挑戦！

著作権、上演権等の許諾状況

各種上演権、使用権等の許諾手続の要否		該当なし	該当コンテンツ名	
該当事項がある場合	権利者名		許諾確認状況	

別添	なし

【公演団体名　江戸糸あやつり人形　結城座　】

ワークショップの内容	ワークショップのねらい	**～日本の伝統文化に実際に触れて理解する体験～** 実際に自分で人形をあやつることで、伝統的な糸あやつり人形の仕組みを理解すると同時に、人形をつかった表現の多様さを体験します。本公演の鑑賞に向けては、日本人の生活文化に根差した動作(正座やお辞儀など)や心情の表現などを可能にする、人形遣いの技芸への理解を深めます。 **～児童・生徒の自己表現の機会を作る～** これまでのワークショップでも、「こういう動きはできるかな」「こんなことを やってみたい！」など、人形を通して表現することに自発的な取り組みが見受けられました。1人1体の人形を持ち、台詞を言いながら人形をあやつる、結城座独自の表現方法を通して、子どもたちの豊かな自己表現力を育む機会を作ります。 **～児童・生徒同士のコミュニケーションを深める～** 人形の目線や体の向きを相手に向けて、台詞が伝わる身振りをすることは、自分の体より難しいですが、人とのコミュニケーションを客観的に理解する機会になります。さらに、舞台上での立ち位置を意識し、児童・生徒同士で息を合わせることで、コミュニケーションを深める機会となります。		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	最大90人
	ワークショップ実施形態及び内容	時間：**約90分**(授業2時限分) 講師(人形遣い)：主講師1名(結城育子)、補助講師5名(結城孫三郎他) **★人形遣いに挑戦しよう！** 「江戸糸あやつり人形」についての歴史や基本構造、操作法などを解説後、参加児童・生徒全員に人形遣いの体験をしていただきます。 **①人形の仕組みと歴史のお話** 歴史：江戸時代1635年から390年の歴史を分かりやすく解説します。 人形の仕組み：日本独自の手板(ていた)と呼ばれる操作板、人形の構造や、基本の17本の糸がどこについていて、それぞれ何の糸なのか、動かしながら説明します。 **②17本の糸を動かしてみよう！** 内容例： ・まず手板（操作板）を正しい持ち方で持つ ・膝の糸を持ち、足踏みをして前進してみる ・手やおでこの糸を遣って、握手をする、目線を合わせる、手を振るなど、相手がいることを意識した簡単なコミュニケーションを取ってみる。 **③台詞を言いながら動かす、人形遣いに挑戦！** 児童・生徒同士で簡単な人形芝居をして、台詞を言いながら人形をあやつることに挑戦します。本公演で共演児童・生徒の台詞もワークショップ参加者全員で稽古します。 ※事前に児童・生徒の身長リストを頂き、身長に合う糸の長さの子供用人形を使います。 ※ ②③は、1回10～15人を3～5回繰り返して、順番に全員が体験します。また、体験の順番を待っている間も他の児童・生徒が遣っている様子を鑑賞、人形とのコミュニケーションにも参加し、理解と興味を一層深められるように働きかけます。		

	④三味線にのせて歌ってみよう！　作詞作曲：新内多賀太夫 三味線のリズムに初めて触れる児童・生徒でも馴染みやすいよう作詞作曲された楽曲を、歌と身近な楽器(カスタネットなど)で体験します。 歌詞の一部には実施場所の地名を取り入れるなどして、子供たちが身近に感じる工夫をしています。 本公演では、「東海道中膝栗毛」の冒頭で、人形をあやつる児童・生徒とは別に、20人程度の児童・生徒に歌と演奏で参加して頂きます。
その他ワークショップに関する特記事項等	会場は、児童・生徒15名程度が横並びできるスペースがあれば体育館でなくても実施可能です。 ①人形の仕組みと歴史のお話： 講師を囲む形の半円形、または二列～三列横隊で座るのが望ましいです。 ワークショップの様子

別添	なし

【公演団体名　江戸糸あやつり人形　結城座　】

記載方法等	
	例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。 ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。 ・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。 ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。 上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。 任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。 詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。 なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件						
（必須）	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。					
会場の設置階の制限	2F以上可(エレベーター必須)		主幹引き込み電源容量		100	A以上
舞台設置面積	間口	7.2	m	奥行	4.5	m
	高さ	0.8	m			
舞台設置場所	フロア対応	不可		学校のステージでの対応	可	
搬入間口の広さ	幅	1.8	m	高さ	2	m
遮光の要否	7割程度必要		緞帳の要否		あれば使用する可能性がある	
ピアノの使用について	使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定		なし	
			ピアノを使用しない場合の移動の要否		要	
搬入車両(トラック等)の横づけ	必須		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離		10	m以内
搬入車両の種類	小型トラック(軽トラック)		台数	1	台	
搬入車両の大きさ	車幅	2	m	車長	6	m
備考						

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

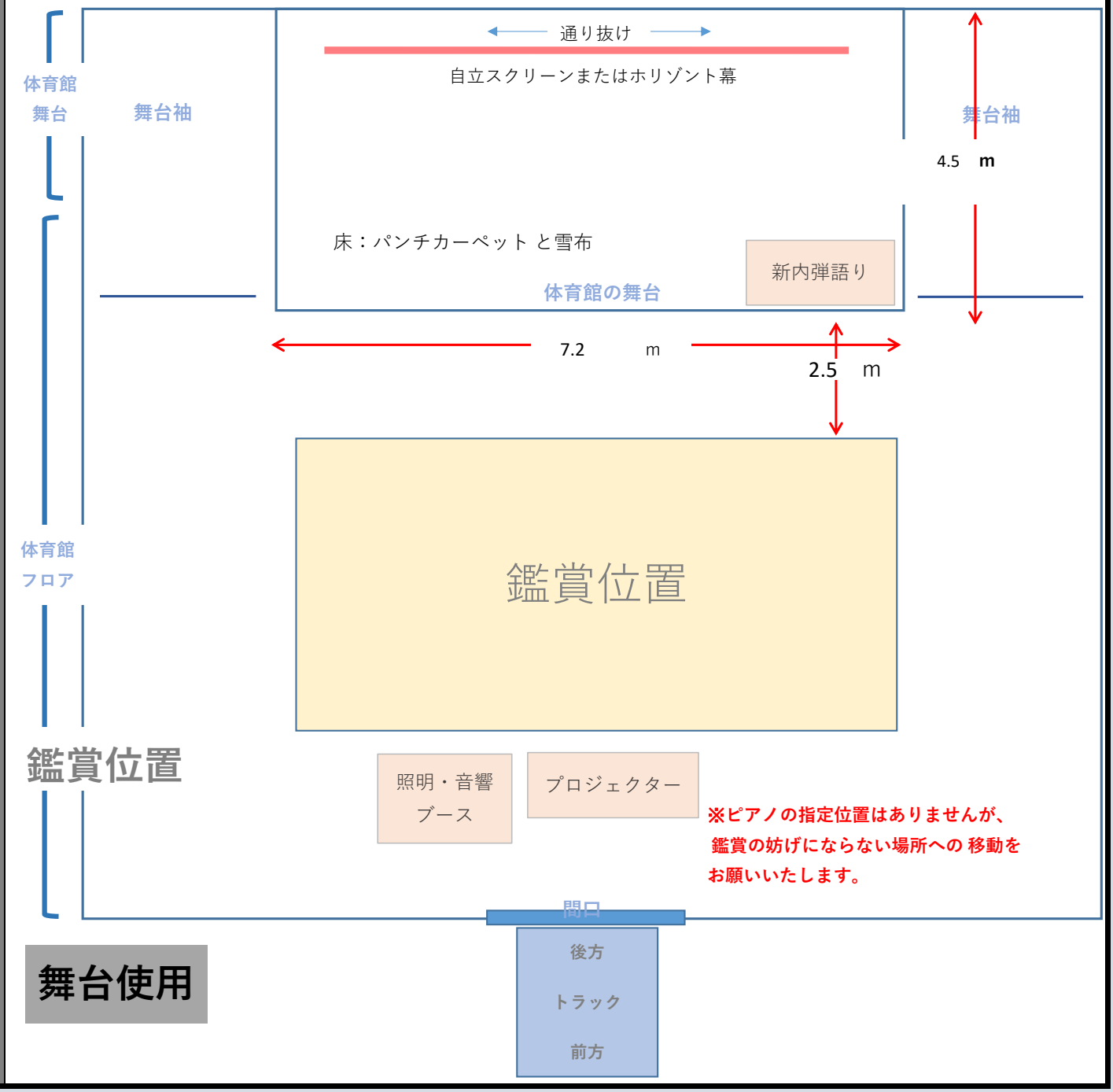
学校からの情報	
（任意）	**学校からの提出を求める資料**がある場合のみ記入してください。
会場図面の提出要否	要
その他提出が必要な資料 （搬入間口や搬入経路の写真の提出等）	搬入間口、搬入経路の図面又は写真希望

時間外対応						
	（任意）	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、**必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。** なお、**一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。** ※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。				
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	40分程度 ※要相談	ワークショップ終了後	本公演の共演に向けて、①台詞を言いながら人形をあやつる稽古、②劇中歌の稽古を行います。	授業時間と体験人数によっては、共演生徒の稽古が時間外に必要になる可能性があります。※要相談
	ワークショップ					
	本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	45分程度 ※要相談	例： 〇10:00～10:30共演生徒最終合わせ稽古 〇10:30～10:40 鑑賞生徒入場、準備 〇10:45 開演～12:00終演	共演生徒最終合わせ稽古 人形遣い・歌で共演する児童・生徒と、実際の舞台上で最終確認稽古を行います。	特にワークショップから期間が空く場合は、 最低30分確保が望ましいです。
	本公演					

個別確認事項		
	（任意）	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。
		個別ヒアリング事項
	1	舞台の高さにより人形が見にくい場合は、平台や箱馬等を使い舞台床面の高さを上げる措置を講じます。
	2	会場の条件および開演時間により、前日仕込みのご対応をお願いする場合があります。
	3	本公演では舞台袖に人形を設置しますが、とても繊細なため、舞台袖の物の撤去と掃除をお願い致します。

（任意）	会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。
	※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。

会場簡易図面



別添	なし

【公演団体名　江戸糸あやつり人形　結城座　】

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫	【本事業を通じて実現したいこと】 ①一人でも多くの児童・生徒が伝統文化に親しむ機会を作る 現存する伝統的な糸あやつり人形の劇団は少なく、貴重な文化財として現在『国記録選択無形民俗文化財』『東京都の無形文化財』に指定されています。江戸糸あやつり人形に初めて出会う児童・生徒一人一人の視点に立ち、楽しみながら伝統文化に親しむ機会を作ります。 ②自分で考えて発見する、新たな学びの場を作る ワークショップでは、児童・生徒が意欲的に取り組み、どんな風に表現できるのか、自ら発見できる機会を作ります。 本公演では、自らの体験を経て視野を大きく広げ鑑賞してほしいと思います。 また、人形芝居に限らず、日常生活においても「どのようにしたら相手に伝わるのか」自分や相手の気持ちを想像する力を育めるよう働きかけます。 【上記の実現に向けて、実施の工夫】 ①一人でも多くの児童・生徒が伝統文化に親しむ機会を作るために ・参加者全員に人形あやつりを体験して頂きます。可能であれば先生方も一緒に体験して頂くことで、体験に不安がある児童・生徒にも安心して参加して頂けます。 ・事前に身長のリストを頂き、糸の長さを調整した児童・生徒用の人形を用意しています。 ・児童・生徒が集中できるよう、短い時間で簡潔なワークショップ内容を心がけています。その上で、プロの人形遣いと同じように、基本からしっかり教えています。 ・本公演では、人形が床から60cmと小さいため、より鑑賞しやすい座席配置や公演回数をご提案しています。 ②自分で考えて発見する、新たな学びの場を作るために ・ワークショップでは、体験する側と、他の児童・生徒の体験の様子を鑑賞する側の両方の視点で考える機会を作ります。人形を動かすとき、自分の身体だったらどうするか、その都度考えるよう働きかけます。 ・発展的な内容として、台詞に合わせた動きでは、複数の糸を組み合わせてどのように遣えるか児童・生徒に考えて頂きます。 ・本公演では、鑑賞前に人形の仕組みをおさらいし、より理解を深められるようにします。

本事業への応募理由等	事業を適切かつ 円滑に実施するための 工夫	【学校との連絡調整について】 採択後、お電話でご挨拶させて頂き、その後電話・メール等で実施に向けてのご連絡致します。(ビデオ通話等の対応も可能です。) 以下、大まかな流れです。 **採択後**:本事業及び団体の概要、ワークショップ・本公演の実施イメージをご説明します。 **新学期(4月)**:ご担当の先生の確認、実施の日程調整(ワークショップ・本公演とも)を行います。 **ワークショップ準備(4月以降)**:対象の児童・生徒に合わせて、ワークショップの内容・進行プランをご提案します。児童・生徒の身長に合わせて糸の長さを調整した人形をご用意するため、身長リストを頂きます。 **ワークショップ当日**:伺った際に、本公演に向けて会場の下見・打合せを行います。 **本公演準備**:本公演に向けてスケジュールや座席配置を調整し、安全に実施するための対策を確認します。 【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】 事前に先生方へのヒアリングを丁寧に行い、対象児童・生徒に応じた実施イメージをご提案します。 **●特別支援学校等における取り組み** 過去の特別支援学校等の公演・ワークショップでは、視力的に人形を見ることが難しい、または身体的に体験・鑑賞時に体を起こせない場合でも、そのままの体勢で人形に触れてもらい、また、近くまで行って人形をあやつり、動く音を聞くなど、先生方と相談しながら臨機応変に対応しております。子供たちから自発的に触ろうと手を伸ばすなど、人形が生き生きと動く様子に興味を持って頂くことが多く、人形芝居や江戸文化の楽しさを体験して頂けると感じます。 集中力の持続が難しい場合や、途中退室の対応も可能です。短い時間でも、生の舞台を鑑賞する経験が児童・生徒の感性を刺激します。 ※本公演鑑賞では、演出の都合上会場を暗くします。完全な暗闇でなくても十分に鑑賞はしていただけますので、暗い所が苦手な子共たちや、その他にも大きな音や鑑賞時間などに制限がある場合など、子供たちの体と心の率直な現状をお聞かせいただき、事前準備と下見の段階で丁寧な相互のコミュニケーションを取って臨みます。 【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】 ・本公演で鑑賞児童・生徒全員に配布するパンフレットにて、「もっと学ぼう！」のコーナーを設け、人形についてより詳しく知ることが出来る動画、書籍、ホームページを紹介します。 ・体験・鑑賞の経験で、学校の授業で習う「人形浄瑠璃」「江戸文化」への理解・関心が深まったと毎回好評を得ています。